記者発表資料

平成２６年８月２９日
内閣府（防災担当）

平成２６年防災功労者防災担当大臣表彰式について

標記式典を下記のとおり執り行うのでお知らせします。

記

○　日　時　　平成２６年９月２日（火）

１３時３０分～

○　場　所　　合同庁舎第８号館講堂

○　出席者　　防災担当大臣　ほか

＊　式典内容はカメラ撮り可

【本件問い合わせ先】
内閣府政策統括官（防災担当）付
参事官（総括担当）付　馬場、加藤、五十嵐、後藤
電話：03-3501-5408（直）　FAX：03-3503-5690

平成２６年防災功労者防災担当大臣表彰式

１　日　　時　　平成２６年９月２日（火）

　　１３：３０　～　１４：００

２　場　　所　　中央合同庁舎第８号館講堂

３　表彰式次第

（開　式）　　１３：３０

⑴　防災担当大臣あいさつ

⑵　防災担当大臣表彰状授与

⑶　受賞者代表謝辞

（閉　式）　　１３：５０

４　記念写真撮影　　１３：５５

（終　了）　　１４：００

平成26年防災功労者防災担当大臣表彰受賞者名簿

○ 個 人

〔災害時の防災活動〕

堀　田　　稔	（京都府）

〔防災体制の整備〕

山 崎　文 雄	（千葉県）
椎 野　幸 一	（神奈川県）
福 和　伸 夫	（愛知県）
武 田　恭 明	（鳥取県）
五 軒 家　憲 次	（徳島県）
大 迫　隆 典	（福岡県）

〔防災思想の普及〕

大 畑　ト シ	（栃木県）
高 澤　勝 彦	（静岡県）
伊 東　貴 美 代	（静岡県）
猪 狩　信 浩	（宮崎県）

○ 団 体

〔災害時の防災活動〕

長崎県赤十字無線奉仕団	（長崎県）

〔防災体制の整備〕

蟹沢自主防災会	（秋田県）
流山市美田自治会	（千葉県）
山王学区自主防災会	（京都府）
黒坂地区自主防災委員会	（鳥取県）

〔防災思想の普及〕

岩田校区防災会連絡協議会	（愛知県）
香久山区自主防災会	（愛知県）

以上　１１個人、7団体

功　　績　　概　　要

個人［災害時の防災活動］

推　薦　者	京　都　府　知　事
氏　　名	ほ　っ　た　　み　の　る 堀　田　　稔
住　　所	京都府亀岡市
職　　業	無　職
功績の概要	同氏は、平成２４年７月１５日未明から朝にかけて、亀岡市で時間雨量９０ｍｍ以上の豪雨により、同市内で土石流が発生した際に、地元区長として直ちに地域住民に災害の発生を知らせ、指定場所への避難及び垂直避難等を促し、人的被害を未然に防ぐとともに、警察官、民生委員等と協力して取り残された高齢の要配慮者を避難所へ収容するなど、自らの危険を顧みない献身的な対応に奔走するなど、災害時の防災活動に多大な貢献をした。

功　　績　　概　　要

個人［防災体制の整備］

推　薦　者	内　　閣　　府
氏　　名	やまざき　ふみお 山　崎　　文　雄
住　　所	千葉県千葉市
職　　業	千葉大学教授
功績の概要	同氏は、地震工学及び都市基盤工学において優れた成果を残しており、最先端の研究・教育と地域の防災力の向上に幅広く貢献するほか、防災行政へ有用な提言を行うなど、防災対策の推進に幅広く尽力された。 研究活動においては、建築物の地震被害予測と都市防災計画、地震動特性の評価と地盤震動解析、都市ライフラインの地震防災システムの開発について高い学術成果を挙げている。 防災行政においても、「首都直下地震モデル検討会」委員をはじめ、「南海トラフの巨大地震モデル検討会」委員、「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会」委員、「東海地震対策専門調査会」委員、「東海地震に関する専門調査会」委員に就任し、地震工学、都市基盤工学等に係る多くの有用な提言を行うなど、防災体制の整備に多大な貢献をした。

功　　績　　概　　要

個人［防災体制の整備］

推　薦　者	神　奈　川　県　知　事
氏　　名	しいの　こういち 椎　野　　幸　一
住　　所	神奈川県藤沢市
職　　業	農業
功績の概要	同氏は、平成１８年１２月から地区防災組織連絡協議会会長を務め、地域の自主防災組織の運営・防災活動に尽力し地域の防災力向上に貢献するとともに、藤沢市内全１４地区で構成される藤沢市防災組織連絡協議会の発足に尽力。平成２１年５月から同協議会の初代会長として、藤沢市地域防災活動推進大会の開催を総括するなど藤沢市全体の防災力の強化に多大な貢献をした。 また、平成２５年２月からは、藤沢市防災会議委員も務め、藤沢市地域防災活動推進大会の検討に参画するなど、藤沢市の防災体制の整備に多大な貢献をした。

功　　績　　概　　要

個人［防災体制の整備］

推　薦　者	内　　閣　　府
氏　　名	ふくわ　のぶお 福　和　　伸　夫
住　　所	愛知県名古屋市
職　　業	名古屋大学教授
功績の概要	同氏は、建築耐震工学において優れた成果を残しており、最先端の研究・教育と地域の防災力の向上に貢献するほか、防災行政へ有用な提言を行うなど、防災体制の整備に尽力された。 研究活動においては、建築物の免震・制振（震）技術に関する研究、都市の地震防災や災害情報・地域協働・啓発育成に関する実践的研究について高い学術成果を挙げている。 防災行政においても、「南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ」委員をはじめ、「南海トラフの巨大地震モデル検討会」委員、「首都直下地震モデル検討会」委員、「東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会」委員、「災害被害を軽減する国民運動の推進に関する専門調査会」委員、「東海地震対策専門調査会」委員に就任し、建築耐震工学等に係る数多くの提言を行うなど、建築耐震工学の専門家として、防災体制の整備に多大な貢献をした。

功　　績　　概　　要

個人［防災体制の整備］

推　薦　者	鳥　取　県　知　事
氏　　名	たけだ　やすあき 武　田　　恭　明
住　　所	鳥取県鳥取市
職　　業	自営業
功績の概要	同氏は、鳥取市自主防災会連合会会長として、平成１６年の市町村合併以降自主防災会がない地域における組織の立ち上げをはじめ、自主防災会の再生・強化に尽力した結果、鳥取市の自主防災会組織率は約９８％となった。 また、自主防災会の活性化のため、複数回数以上の訓練・研修を実施した自主防災会に対する活動助成制度の導入を図るとともに、防災ポスターコンクールを開催して市民の防災意識の向上を図った。 さらに、鳥取市総合防災訓練、国民保護訓練等に積極的に参加、協力して自主防災会の防災技術の向上に取組み、鳥取市の防災対策の推進にも大きく寄与するなど、防災体制の整備に多大な貢献をした。

功　　績　　概　　要

個人［防災体制の整備］

推　薦　者	徳　島　県　知　事
氏　　名	ごけんや　けんじ 五軒家　憲次
住　　所	徳島県海部郡海陽町
職　　業	元海陽町長
功績の概要	同氏は、昭和南海地震の体験者として、当時被害を受けた住民宅を一軒ずつ回って体験談を集め、「南海地震津波の記録　宿命の浅川港」の編集・発行に尽力した。また、幼少年期向けの「南海地震津波の絵本　シロのないた海」を作成するとともに、津波に対する心得を記した「津波十訓」の碑の建設に尽力するなど、地域の津波防災力の向上に努めた。 さらに、同氏が誘致に尽力した「全国沿岸市町村　津波防災サミット」において、「シロのないた海」の劇を通じて全国に向け情報発信を行うとともに、土木学会全国大会の特別討論会にパネリストとして参加し、津波対策を中心とした防災・減災に取り組んだ。 また、町長として「浅川湾口防波堤の建設」、「海岸耐震対策緊急事業の実施」、「津波避難タワーの整備」に精力的に取り組んだほか、「徳島県南部津波減災対策推進会議」の顧問を務めるとともに、「海陽町千年のいのちを守るまちづくり基金」を創設するなど、防災体制の整備に多大な貢献をした。

功　　績　　概　　要

個人［防災体制の整備］

推　薦　者	福　岡　県　知　事
氏　　名	おおさこ　たかのり 大　迫　　隆　典
職　　業	無職
功績の概要	同氏は、北九州市小倉南区市民防災会連合会・志井校区会長として、校区の自主防災活動に積極的に取り組んできた。 地域の防災力の強化及び行政との連携を目的に、区役所・消防・警察等関係機関との防災訓練等を実施。 年間を通じて、「住民参加型図上訓練」や「防災まち歩き」により、地域の危険箇所を調査し、自分たちでできることは自分たちで修繕を行う活動を実施している。また、防火・防災教室を実施するなど、防災体制の整備に多大な貢献をした。

功　　績　　概　　要

個人［防災思想の普及］

推　薦　者	栃　木　県　知　事
氏　　名	おおはた　とし 大　畑　　ト　シ
職　　業	主婦
功績の概要	同氏は、自主防災組織、女性防火クラブ、消防団など様々な組織において、精力的に防災思想の普及活動を行っている。 特に地域の女性防火クラブにおいて長年にわたり会員の育成、指導に尽力するとともに、自主防災組織においてもリーダーシップを発揮し、あらゆる災害に対応できるよう常に「自分たちでできる防災」について教え、且つ実践している。 さらに、東日本大震災における、被災者の支援、家屋倒壊への注意喚起等の二次的災害防止活動等に貢献するなど、防災思想の普及に多大な貢献をした。

功　　績　　概　　要

個人［防災思想の普及］

推　薦　者	静　岡　県　知　事
氏　　名	たかざわ　かつひこ 高　澤　勝　彦
職　　業	無職
功績の概要	同氏は、豊富な無線知識を活かし、「富士市アマチュア無線非常通信協力会」を発足させて、富士地域全域における詳細な災害発生情報及び被害速報の一括発信を可能とする災害情報受発信体制を確立し、富士市の初動体制を固める上で多大な貢献をした。 また、市内災害ボランティアを統括する連絡会の設立にも寄与し、現在も主席アドバイザーとして指導を行うとともに、平成２４年度に発足した富士市地域防災指導員会の会長にも就任。自治会長、自主防災会長を務めた際には独自の「避難所運営マニュアル」を富士市で初めて作成した。当該マニュアルを利用した訓練は毎年行われ、徐々に市内各地域の訓練にも利活用されている。 さらに、最近では小学校での防災教育も積極的に携わり、学年に見合った正確な防災知識の普及・災害時の初動体験により、未来の地域の担い手の育成にも尽力するとともに県の自主防災新聞編集委員として、防災思想の普及に多大な貢献をした。

功　　績　　概　　要

個人［防災思想の普及］

推　薦　者	静　岡　県　知　事
氏　　名	いとう　きみよ 伊　東　　貴　美　代
職　　業	主婦
功績の概要	同氏は、裾野市地域地震防災指導員として多年にわたり、自主防災組織の防災力向上や防災訓練における指導に取り組むとともに、担当地区のみならず、市内の他地区への訓練指導も積極的に行っている。 また、防災士や防災管理者、防災コーディネーター、応急手当普及員等の資格を取得して、常に自己研鑽に励み、最先端の防災指導の知識習得に努め、自分の学んだことを資料化し、防災訓練等において市民にわかりやすく伝達している。 さらに、災害弱者である女性、子供の立場に配慮した防災訓練での指導、防災意識の向上に努めるなど、防災思想の普及に多大な貢献をした。

功　　績　　概　　要

個人［防災思想の普及］

推　薦　者	宮　崎　県　知　事
氏　　名	いがり　のぶひろ 猪　狩　信　浩
職　　業	会社役員
功績の概要	同氏は、平成１３年から風水害等の災害予測をメール配信により発信を行うとともに、平成１９年には宮崎県防災士ネットワークを立ち上げ防災士相互の情報交換や相互連携を図り、防災意識向上に取り組む。県及び市町村が実施する防災活動に協力し、地域の様々な場面において減災と地域防災力向上の啓発に関する事業を行っている。 また、ネットワーク会員による防災講演や訓練等を実施するなど、地域に根ざした地道な活動を積み重ね、住民の防災意識の高揚を図るなど、防災思想の普及に多大な貢献をした。

功　　績　　概　　要

団体［災害時の防災活動］

推　薦　者	日　本　赤　十　字　社
名　　称	長崎県赤十字無線奉仕団
所　在　地	長崎県長崎市
代　表　者	委員長　松田（まつだ）　謙治（けんじ）
功績の概要	同奉仕団は、４７年間の永きに渡り災害救護活動に多大な貢献をした。具体的には、昭和５７年の長崎大水害においては、日赤支部無線室へ入り、アマチュア無線局を統制、交通遮断地域等の交通情報を防災関係機関へ情報提供等を行った。平成３年の雲仙普賢岳噴火災害においては、電波情報の不通解消の為現地にアマチュア無線中継設備を架設し情報提供を行った。 平成２３年の東日本大震災においては、東北・関東地方の無線通信を傍受し、日赤長崎県支部医療救護班派遣に係る交通情報の提供をするなど災害時の防災活動に貢献した。 また、長崎県に多くの離島が存在することから、アマチュア無線の特性を活かした複数の通信手段のオペレーターの育成に取り組むとともに赤十字防災ボランティアの為の研修会等において活動するなど防災体制の整備にも多大に貢献した。

功　　績　　概　　要

団体［防災体制の整備］

推　薦　者	秋　田　県　知　事
名　　称	蟹沢（がにさわ）自主防災会
所　在　地	秋田県鹿角市
代　表　者	会　長　藤原（ふじわら）　純一（じゅんいち）
功績の概要	同自主防災会は、毎年９月第２日曜日を「地域防災の日」として位置付け、地域ぐるみでの総合防災訓練を実施しており、小型動力ポンプ使用訓練、土のう作成訓練、安否確認訓練など具体的な訓練は成果を上げているとともに、高齢者を対象とした防災に関する寸劇を披露するなど特色ある活動を行っている。 当該地域では全国平均をはるかに上回る高齢化が進行する状況下において、高齢者や子供たちが安心して暮らせる地域づくりを目指す活動に力を入れており、こうした非常に重要な自主防災活動が徐々に他組織にも広がりつつある。 このように、他地域のモデルとなる自主防災の先駆的活動により、防災体制の整備に多大な貢献をした。

功　　績　　概　　要

団体［防災体制の整備］

推　薦　者	千　葉　県　知　事
名　　称	流山市美田自治会
所　在　地	千葉県流山市
代　表　者	会　長　松島（まつしま）　英雄（ひでお）
功績の概要	同自治会は、流山市内の自主防災組織の中で、特に先進的な取り組みを実施しており、具体的には防災マニュアルや避難所運営マニュアルの作成、防災体験訓練や発災対応型防災訓練の実施、要援護者支援体制の構築、避難所開設訓練等実際的な防災訓練を実施するなど、自主防災組織自身の防災力を向上させるのみならず、他の自主防災組織の手本となって、流山市全般の地域防災力の向上、防災体制の整備に多大な貢献をした。

功　　績　　概　　要

団体［防災体制の整備］

推　薦　者	京　都　府　知　事
名　　称	山王学区自主防災会
所　在　地	京都府京都市
代　表　者	会　長　木村（きむら）　正満（まさみつ）
功績の概要	同自主防災会の自主防災組織では、町内版地域防災計画がすべての町内で策定されており、災害時の初期消火等を行う防災活動の拠点となる「地域の集合場所」を定めているほか、避難人員を迅速に把握するための避難情報カードを作成するなど、より実効的な計画となるよう検証や見直しを行っている。 また、大規模災害発生時に備え、避難訓練を実施しているほか、住民主体の防災訓練、防火見回りを行うとともに、自主防災会女性部を結成し、女性との視点を取り入れた訓練を実施するなど災害に強い人づくり、まちづくりに尽力するなど、地域の防災力向上に多大な貢献をした。

功　　績　　概　　要

団体［防災体制の整備］

推　薦　者	鳥　取　県　知　事
名　　称	黒坂地区自主防災委員会
所　在　地	鳥取県日野郡日野町
代　表　者	会　長　福田（ふくだ）　和也（かずや）
功績の概要	平成１２年に発生した鳥取県西部地震の経験を活かした、災害図上訓練、炊き出し訓練、広報誌の発行等創意工夫した幅広い活動のほか、防災資機材、倉庫の整備にも取り組んでいる。 また、鳥取県西部地震の震災の記憶が風化しないよう、地区での防災意識の向上に努める活動に取り組み、地域の防災体制の整備に多大な貢献をした。

功　　績　　概　　要

団体［防災思想の普及］

推　薦　者	愛　知　県　知　事
名　　称	岩田校区防災会連絡協議会
所　在　地	愛知県豊橋市
代　表　者	会　長　青木（あおき）　哲夫（てつお）
功績の概要	同協議会は、地域住民が集まる運動会の中に担架搬送訓練・バケツリレーを取り入れて年代・地域の枠を超えた住民参加型訓練を継続して行っているほか、校区内において、防災訓練参加者の拡大を図るため、毎月発出する回覧により周知するなど、広く同協議会の取組みをＨＰに掲載して地域住民で情報の共有を図る努力を続け防災訓練参加者が拡充するなど成果を上げている。また、外国人が多数居住することからＨＰに外国語表記を付すとともに、日系ブラジル人等との協働した訓練を実施して、幅広い防災啓発を推進するなど、防災思想の普及に多大な貢献をした。

功　　績　　概　　要

団体［防災思想の普及］

推　薦　者	愛　知　県　知　事
名　　称	香久山区自主防災会
所　在　地	愛知県日進市
代　表　者	会　長　出　原（いづはら）　斌（たけし）
功績の概要	同自主防災会は、地域防災訓練をウォークラリーやイベント、地域の祭り等に合わせて実施するなど、防災に触れる機会を住民に積極的に提供している。 また、小学生を対象とした防災マップの作成などを行い、防災思想の普及を行うとともに、日進市をはじめ、防災関係機関と協力・協働して地域合同総合防災訓練を主体的に実施した。 さらに、地域住民を対象とした、「香久山区自主防災通信」を定期的に発行し、日頃から防災意識の啓発に努めるとともに、独自にＨＰを作成して随時活動報告を掲示、大型複合商業施設との協力による防災展を実施するなど、平時から防災情報の提供に努め、地域住民への防災意識の普及・啓発に尽力し、防災思想の普及に多大な貢献をした。